

実施計画（令和4年度～令和6年度）事業一覧（節毎）

7節 都市基盤（利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村）

	基本施策 番 号	実施施策 番 号	事業名
1	①	①	水道事業（第7次拡張）
2	①	③	公共下水道事業
3	①	③	効果促進事業（中城村公共下水道事業接続推進事業）
4	②	②	村道ウフクビリ線災害防除
5	②	②	村道奥間～南上原線整備事業
6	②	②	村道若南線整備工事
7	②	②	中城村橋梁長寿命化修繕事業
8	②	②	舗装構成改良事業
9	③	①	中城村・北中城村共同まちづくり計画策定
10	③	③	南上原土地区画整理事業
11	④	①	護佐丸バス運行事業
12	⑤	①	役場庁舎等維持管理事業
13	⑥	②	吉の浦公園施設機能強化整備計画業務

実施計画書（令和4年度～令和6年度）

事業名	水道事業（第7次拡張）					事業区分	継続事業
令和3年度 事業費	340,000	千円	令和4年度 事業費	68,000	千円	実施計画総事業費 (令和4～6年度)	283,000 千円
			対前年増減額	▲ 272,000 千円			

事業概要	第四次総合計画位置付け	担当課	
給水区域内における給水人口及び給水量の増加に対応するため、水道施設を整備し、住民への安定した給水を目的とする。 令和4年度については前年度に引続き南上原配水池建替工事を継続実施する。	施策の大綱	上下水道課	
	基本施策	7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村)	担当係
	実施施策	① 上下水道の充実	施設係
	その他関係施策	① 上水道施設の維持管理の充実	担当名
		内線番号	242
事業期間		平成 29 年 ~ 令和 8 年	積算資料 有

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
生活用水の需要増や地域開発の動向に対応するため、老朽化した水道施設の更新を行い、水の安定供給を図るため年次的に施設整備を行っていく必要がある。 特に南上原地区においては、人口の急増に伴い水需要も増大していることから、施設の老朽化も含め配水池建替及びポンプ場改修については、急務である。	令和4年度については、前年度から実施している南上原配水池建替工事、令和5年度には南上原ポンプ場の改修により、現状の水需要に対して適切に供給できる体制を構築し、今後の水需要の増大や災害等危機管理対策も同時に実施することができる。

令和4年度			令和5年度			令和6年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事費	68,000	南上原配水池建設工事	工事費	120,000	南上原ポンプ施設の更新	工事費	92,000	
合計	68,000		合計	120,000		合計	95,000	

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	沖縄簡易水道等施設整備費	34,000	千円	50 %	国庫補助金名	沖縄簡易水道等施設整備費	60,000	千円	50 %	国庫補助金名	沖縄簡易水道等施設整備費	47,500	千円	50 %
県補助金名			千円	%	県補助金名			千円	%	県補助金名			千円	%
地方債			千円	%	地方債			千円	%	地方債			千円	%
その他()		34,000	千円	50 %	その他()		60,000	千円	50 %	その他()		47,500	千円	50 %
一般財源			千円	%	一般財源			千円	%	一般財源			千円	%

令和4年度目標 (KPI等)	令和3年度に着手した南上原配水池建設工事を令和4年度まで実施 (配水池更新)	令和4年度との相違点	配水管整備により水道の安定給水を図る。 整備箇所 (南上原ポンプ機械・設備の更新)	令和5年度との相違点	施工箇所(奥間、南上原、安里)と工事内容(配水管改修等)
今後の展開	配水池 V=2,000m ³	目標	ポンプ場 更新	目標	配水管 L=1,500m

実施計画書（令和4年度～令和6年度）

事業名	公共下水道事業					事業区分	継続事業				
令和3年度 事業費	60,417	千円	令和4年度 事業費	272,048	千円	対前年増減額	211,631	千円	実施計画総事業費 (令和4～6年度)	896,048	千円

事業概要	第四次総合計画位置付け	担当課							
中城村公共下水道事業は、中城湾南部流域関連公共下水道事業として、平成8年度に着手し平成14年度に一部供用開始をしました。事業の実施については、人口密集区域を優先し、事業の進捗に合わせて5～7年を目安に計画を拡大・見直ししながら整備を進めています。	施策の大綱	7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村)							
	基本施策	① 上下水道の充実							
	実施施策	③ 下水道事業の推進と住民周知の徹底							
	その他関係施策								
	事業期間	令和	2	年	～	令和	6	年	積算資料
		担当係	下水道係		担当名	下地良和		内線番号	244

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全に資することを目的として事業を実施する必要があります。 課題としては、村内の下水道整備率が55.3%と低いことから、令和4年度より新規交付金事業により事業費を確保し、下水道整備率の向上に取り組みます。	下水道工事の実施により令和2年度末時点で、下水道計画区域354haのうち196haの下水道整備を実施し、進捗率は55.3%となり公衆衛生の向上、公共用水の水質保全に寄与しています。

令和4年度			令和5年度			令和6年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託費	79,000	詳細設計	委託費	63,600	詳細設計	委託費	83,600	詳細設計
工事費	193,048	汚水管工事	工事費	241,400	汚水管工事	工事費	235,400	汚水管工事
合計	272,048		合計	305,000		合計	319,000	

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	地方創生汚水処理施設整備推進交付金	92,000	千円	34 %	国庫補助金名	地方創生汚水処理施設整備推進交付金	120,000	千円	39 %	国庫補助金名	地方創生汚水処理施設整備推進交付金	127,000	千円	40 %
県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	52,829	千円	19 %	県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	39,000	千円	13 %	県補助金名	沖縄振興公共投資交付金	39,000	千円	12 %
地方債	財政融資資金貸付金	127,100	千円	47 %	地方債	財政融資資金貸付金	146,000	千円	48 %	地方債	財政融資資金貸付金	153,000	千円	48 %
その他()			千円	%	その他()			千円	%	その他()			千円	%
一般財源		119	千円	0 %	一般財源			千円	%	一般財源			千円	%

令和4年度目標(KPI等)	南上原地区のほかに認定こども園用地の下水道整備の推進を図り、整備率を57%まで引き上げます。	令和3年度との相違点	南上原地区の下水道整備の推進を図り、整備率を59%まで引き上げます。
今後の展開	人口密集地である南上原地区の下水道整備完了に努めます。	目標	下水道整備率を59%以上
		目標	下水道整備率を61%以上

実施計画書（令和4年度～令和6年度）

事業名		村道奥間～南上原線整備事業						事業区分		継続事業							
令和3年度 事業費	1,295 千円	令和4年度 事業費	37,000 千円	対前年増減額	35,705 千円	実施計画総事業費 (令和4～6年度)		113,272 千円									
事業概要				第四次総合計画位置付け				担当課									
村道奥間～南上原線の国道329号との交差点において、道路拡幅を行い右折帯を整備することにより、朝夕慢性化している、村道の渋滞を緩和する。				施策の大綱 7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村)				都市建設課									
				基本施策		② 道路整備の促進		担当係		都市建設係							
				実施施策		② 既存道路における調査及び整備・補修		担当名		金城							
				その他関係施策				内線番号		281							
事業期間				令和	2	年	～	令和	6	年	積算資料						
事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果											
村道奥間～南上原線は、東西を結ぶ主要道路であるが、区画整理を行っている南上原地区の急激な人口増加により、本線を利用して、国道329号へと抜ける車両の交通量が多く、片側1車線の道路であるため、常に渋滞を引起こしている。そのため、国道329号との交差点に右折帯を整備することで渋滞を緩和し、道路の利便性を高める。						令和3年度には南部国道事務所による奥間交差点の拡幅改良整備が完了する予定となっており、本村道の改良の実施によりさらなる交通利便性の向上が期待される。											
令和4年度			令和5年度			令和6年度											
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容									
物件補償調査委託	11,000	物件補償調査	用地費	14,000	4筆	工事費	56,272										
用地費	14,000	4筆	補償費	6,000	1件												
補償費	12,000	3件															
合計	37,000		合計	20,000		合計	56,272										
財源内訳				財源内訳				財源内訳									
国庫補助金名	沖縄振興公共投資交付金	29,600	千円	80	%	国庫補助金名	沖縄振興公共投資交付金	16,000	千円	80	%	国庫補助金名	沖縄振興公共投資交付金	45,017	千円	80	%
県補助金名			千円		%	県補助金名			千円		%	県補助金名			千円		%
地方債			千円		%	地方債			千円		%	地方債			千円		%
その他()			千円		%	その他()			千円		%	その他()			千円		%
一般財源		7,400	千円	20	%	一般財源		4,000	千円	20	%	一般財源		11,255	千円	20	%
令和4年度目標 (KPI等)	用地及び補償の交渉を進める。			令和4年度との 相違点	用地及び補償の交渉を進める。			令和5年度との 相違点	改良工事を推進する								
今後の展開	用地4件、補償3件の契約			目標	用地4件、補償1件の契約			目標	改良工事の完了								

実施計画書（令和4年度～令和6年度）

事業名		村道若南線整備工事						事業区分		継続事業			
令和3年度 事業費	0	千円	令和4年度 事業費	11,500	千円	対前年増減額	11,500	千円	実施計画総事業費 (令和4～6年度)	11,500	千円		
事業概要			第四次総合計画位置付け						担当課				
村道若南線は旧県道を起点とし、村道坂田線を終点とする、なだらかな登り勾配の村道で地域の生活道路として利用されている。しかし、道路整備及び排水路の整備がなされていない状況で、地域住民に大きな支障をきたしている。住民及び利用者への安全性と利便性を図ることを目的に整備を進める。			施策の大綱 7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村)						都市建設課 担当係 都市建設係 担当名 金城 内線番号 281				
			基本施策 ② 道路整備の促進										
			実施施策 ② 既存道路における調査及び整備・補修										
			その他関係施策										
			事業期間 平成 26 年 ~ 令和 4 年 積算資料										
事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果							
村道若南線は旧県道を起点とし、村道坂田線を終点とする二級村道である。本路線は道路側溝が整備されていない為排水処理に問題がある。又、道路幅も1.5mと狭いため車両のすれちがいが困難な状況であるため、側溝を整備し、道路を拡幅することによって道路の安全性を高める。(L=959m)						村道の整備を行うことにより、地域住民の土地の有効利用が図られるとともに生活環境がよくなり、安心・安全な住みよい街づくりが期待できる。							
令和4年度			令和5年度			令和6年度							
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容					
工事請負費	7,500	道路整備工事											
道路台帳整備委託	4,000	道路台帳整備											
合計	11,500		合計	0		合計	0						
財源内訳			財源内訳			財源内訳							
国庫補助金名	沖縄振興公共投資交付金	9,200	千円	80	%	国庫補助金名		千円	%	国庫補助金名		千円	%
県補助金名			千円	%	県補助金名		千円	%	県補助金名		千円	%	
地方債			千円	%	地方債		千円	%	地方債		千円	%	
その他()			千円	%	その他()		千円	%	その他()		千円	%	
一般財源		2,300	千円	20	%	一般財源		千円	%	一般財源		千円	%
令和4年度目標(KPI等)	村道若南線で、用地買収が難航した区間約120mの整備を完了させる。					令和4年度との相違点							
今後の展開						目標							
						目標							

実施計画書（令和4年度～令和6年度）

事業名		中城村橋梁長寿命化修繕事業					事業区分	継続事業
令和3年度 事業費	46,343 千円	令和4年度 事業費	95,000 千円	対前年増減額	48,657 千円	実施計画総事業費 (令和4～6年度)	95,000 千円	

事業概要 平成19年に国交省道路局長により橋梁の「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度」が通知され、橋梁長寿命化修繕計画を策定した。また、5年毎の法定点検を平成28年、29年に実施し、その結果に基づき、橋梁の修繕や掛け替えを計画的に実施し、橋梁の破損・倒壊等を未然に防ぎ道路通行止めを防止し、住民及び利用者の安全性を図ることを目的とする。	第四次総合計画位置付け 施策の大綱 7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村) 基本施策 ② 道路整備の促進 実施施策 ② 既存道路における調査及び整備・補修 その他関係施策 事業期間 平成 24 年 ~ 令和 年 積算資料 有	担当課 都市建設課 担当係 都市建設係 担当名 金城 内線番号 281
--	--	--

事業を実施する必要性と現状の課題 橋梁長寿命化計画を策定し従来の事後的な修繕及び架替えから予防的な修繕及び計画的な架替えを図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の安全性・信頼性を確保する。また、5年毎に橋梁の定期点検をすることが法定化されたため、全橋梁を再点検しなければならない。	事業実施効果 従来の事後的な修繕及び架替えから、予防的な修繕及び計画的な架替えへと維持管理方法を変更する事でコスト縮減及び安全性、信頼性の確保をでき、今後のライフサイクルコストを考慮した中長期的な観点から、対策の優先順位を判断することで、予算の有効活用と事業費の平準化が期待される。
--	---

令和4年度			令和5年度			令和6年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
工事請負費	79,000	2橋						
点検調査委託費	16,000	39橋						
合計	95,000		合計	0		合計	0	

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	道	千円	%		国庫補助金名	千円	%		国庫補助金名	千円	%			
道路メンテナンス事業費補助	76,000		80	%										
県補助金名				%									%	
地方債				%									%	
その他()				%									%	
一般財源	19,000		20	%									%	

令和4年度目標(KPI等) 令和4年度は、2橋（南伸1号線、新川線）の修繕工事実施及び、中城村内橋梁44橋中、39橋の点検調査委託業務を発注する。	令和4年度との相違点	令和5年度との相違点
今後の展開 今後も5年ごとに橋梁点検調査を実施する。	目標	目標

実施計画書（令和4年度～令和6年度）

事業名		舗装構成改良事業						事業区分		継続事業							
令和3年度 事業費	8,800 千円	令和4年度 事業費	90,000 千円	対前年増減額	81,200 千円	実施計画総事業費 (令和4～6年度)		415,974 千円									
事業概要			第四次総合計画位置付け						担当課								
日本道路公団が沖縄自動車道の建設に伴い施行した代替道路を昭和63年に村が移管を受け、現在村道として利用しているが、車道としての舗装厚が不足しているため、路面のひび割れや沈下が起こり通行に支障が出ている。舗装構成の変更を行い、通行車両の安全性を図ることを目的とする。			施策の大綱 7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村)						都市建設課								
			基本施策 ② 道路整備の促進						担当係 都市建設係								
			実施施策 ② 既存道路における調査及び整備・補修						担当名 金城								
			その他関係施策						内線番号 281								
			事業期間 令和 3 年 ～ 令和 6 年						積算資料 有								
事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果											
日本道路公団から移管を受けた村道の舗装厚が不足しているため、沖縄高速道沿いの路線全面的に路面のひび割れや沈下が起り、車両を傷つけた等の苦情も毎年でている。補修を行っても、すぐに損傷するため、維持管理での対応ではなく舗装構成の変更を行い、舗装厚の不測を解消する対策を行う必要がある。						舗装構成の変更を行い、舗装厚の不足を解消することで通行車両の安全性を確保できる。											
令和4年度			令和5年度			令和6年度											
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容									
委託費	30,000	調査測量設計費	工事費	151,602	4路線	工事費	174,372	6路線									
工事費	60,000	2路線															
合計	90,000		合計	151,602		合計	174,372										
財源内訳				財源内訳				財源内訳									
国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	72,000	千円	80	%	国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	121,281	千円	80	%	国庫補助金名	社会資本整備総合交付金	139,497	千円	80	%
県補助金名			千円		%	県補助金名			千円		%	県補助金名			千円		%
地方債			千円		%	地方債			千円		%	地方債			千円		%
その他()			千円		%	その他()			千円		%	その他()			千円		%
一般財源		18,000	千円	20	%	一般財源		30,321	千円	20	%	一般財源		34,875	千円	20	%
令和4年度目標 (KPI等)	令和4年度は、12路線の調査測量設計及び2路線分の整備工事を実施する。					令和4年度との 相違点	令和5年度は、4路線分の整備工事を実施する。					令和5年度との 相違点	令和6年度は、6路線分の整備工事を実施する。				
今後の展開	12路線の設計と4路線の整備工事を実施する。					目標	4路線の整備工事を実施する。					目標	6路線の整備工事を実施する。				

実施計画書（令和4年度～令和6年度）

事業名		中城村・北中城村共同まちづくり計画策定					事業区分		継続事業			
令和3年度 事業費	16,500	千円	令和4年度 事業費	17,710	千円	対前年増減額	1,210	千円	実施計画総事業費 (令和4～6年度)	17,710	千円	
事業概要			第四次総合計画位置付け					担当課				
那覇広域都市計画区域から中部広域都市計画区域への移行に向けて、中城村、北中城村との共同のまちづくり計画を策定する。			施策の大綱 7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村)					都市建設課				
			基本施策 ③ 均衡のとれた土地利用の推進					担当係	都市建設係			
			実施施策 ① 均衡のとれた土地利用					担当名	佐久田			
			その他関係施策					内線番号	281			
事業期間			令和	2	年	～	令和	4	年	積算資料		
事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果						
中部広域都市計画区域に移行するためには、両村の共同のまちづくりの展望を明確にする必要がある。両村の共同のまちづくりにより将来の土地利用の考え方を整理し、計画を策定する。						両村の共同のまちづくり計画により、中部広域都市計画区域への移行を進めていく。						
令和4年度			令和5年度			令和6年度						
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容				
委託費	17,710	先導プロジェクト										
合計	17,710		合計	0		合計	0					
財源内訳				財源内訳				財源内訳				
国庫補助金名		千円	%	国庫補助金名		千円	%	国庫補助金名		千円	%	
県補助金名		千円	%	県補助金名		千円	%	県補助金名		千円	%	
地方債		千円	%	地方債		千円	%	地方債		千円	%	
その他()		千円	%	その他()		千円	%	その他()		千円	%	
一般財源	17,710	千円	100	%	一般財源		千円	%	一般財源		千円	%
令和4年度目標 (KPI等)	共同まちづくり計画をもとに先導プロジェクトを計画・実施していく。			令和4年度との 相違点		令和5年度との 相違点						
今後の展開	先導プロジェクトの計画・実施、 村マスタープランの改定			目標		目標						

実施計画書（令和4年度～令和6年度）

事業名	南上原土地区画整理事業					事業区分	継続事業
令和3年度 事業費	176,944	千円	令和4年度 事業費	178,630	千円	実施計画総事業費 (令和4～6年度)	189,730 千円
			対前年増減額	1,686	千円		

事業概要	第四次総合計画位置付け	担当課				
学園都市として琉球大学との調和のとれた街並を形成するとともに、中城村の新たな緑住スタイルを提案していく居住環境づくり、暮らしの情報発信の場としての地区形成を図る。	施策の大綱	7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村)				
	基本施策	③ 均衡のとれた土地利用の推進				
	実施施策	③ 土地区画整理事業の推進				
	その他関係施策					
事業期間		平成	4年～令和	4年	積算資料	有
		都市建設課		担当係	区画整理係	
				担当名	呉屋克行	
				内線番号	282	

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
琉球大学の移転に伴い南上原地区周辺の地域環境が変わってきており、こうした変化に対応して、住宅地・商業地・公園・学校等のインフラ整備を行い、快適で住みよい住環境を構築し健全な市街地形成を図る必要がある。 今後は、事業完了にむけて換地計画・換地処分に取り組んでいく。	区画整理事業を進めることで、整備された宅地の住宅建築の促進を図り、子育て環境の向上や公共施設の充実によって大幅な地域の発展に繋がる。

令和4年度			令和5年度			令和6年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託費	165,050	換地計画委託費	事務費	8,800	事業事務費	事務費	2,300	事業事務費
事務費	13,580	事業事務費						
合計	178,630		合計	8,800		合計	2,300	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	千円	%	%	国庫補助金名	千円	%	%	国庫補助金名	千円	%	%
県補助金名				県補助金名				県補助金名			
地方債				地方債				地方債			
その他()	178,630	千円	100%	その他()	8,800	千円	100%	その他()	2,300	千円	100%
一般財源				一般財源				一般財源			

令和4年度目標 (KPI等)	換地計画・事業計画の認可 土地・建物登記 換地処分公告 記念誌の作成	令和4年度との相違点	換地処分後の諸整理 清算金の徴収及び交付
今後の展開	換地処分公告・本登記	目標	清算金業務の完了
		目標	清算金業務の完了

実施計画書（令和4年度～令和6年度）

事業名		護佐丸バス運行事業					事業区分		継続事業		
令和3年度 事業費	21,931 千円	令和4年度 事業費	22,995 千円	対前年増減額	1,064 千円	実施計画総事業費 (令和4～6年度)		68,985 千円			
事業概要				第四次総合計画位置付け				担当課			
地形的に分断されている平坦地区と台地地区の上下(東西)の往来が出来る公共交通及び空白地帯への日常生活の足の確保など、交通弱者となる住民への生活環境をよくするため、村内コミュニティバスを運行させる。				7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村)				企画課			
				基本施策		④ 公共交通網の拡充		担当係		企画調整係	
				実施施策		① コミュニティバス等導入の検討		担当名		新屋敷	
				その他関係施策				内線番号		221	
事業期間				平成	27	年	～	令和	年	積算資料	
事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果					
中城村は公共交通が軟弱であり、住民の移動手段は主に329号線を運行しているバスのみであり、上地区と下地区を結ぶ公共交通は存在しないことから、買い物等における日常生活に支障をきたしている状況である。さらに宜野湾市等にある高校への通学するための公共交通の確保は必須であることや、高齢者等の交通弱者に対する支援が求められている。						住民生活の中で自動車一般化している中でも高齢者・障害者や児童・生徒など自動車を利用できない交通弱者へ移動手段を確保することにより、自立した日常生活及び社会生活に寄与させる。					
令和4年度			令和5年度			令和6年度					
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容			
委託料	20,316	バス運行委託料	委託料	20,316	バス運行委託料	委託料	20,316	バス運行委託料			
需用費	2,514	バス券・修繕等	需用費	2,514	バス券・修繕等	需用費	2,514	バス券・修繕等			
役務費	98	車検手数料・保険料	役務費	98	車検手数料・保険料	役務費	98	車検手数料・保険料			
公課費	67	重量税	公課費	67	重量税	公課費	67	重量税			
合計	22,995		合計	22,995		合計	22,995				
財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円	%	国庫補助金名		千円	%	国庫補助金名		千円	%
県補助金名		千円	%	県補助金名		千円	%	県補助金名		千円	%
地方債		千円	%	地方債		千円	%	地方債		千円	%
その他()	運賃収入	5,000	千円 22 %	その他()	運賃収入	5,000	千円 22 %	その他()	運賃収入	5,000	千円 22 %
一般財源		17,995	千円 78 %	一般財源		17,995	千円 78 %	一般財源		17,995	千円 78 %
令和4年度目標 (KPI等)	護佐丸バス利用者の増加 利用者数 33,000人 (令和元年度実績29,321人)			令和4年度との 相違点	路線変更及び各種路線バスとの結節点についての 検討			令和5年度との 相違点	路線変更及び各種路線バスとの結節点についての 検討		
今後の展開	運行ルート等における検討			目標	利用者の増加			目標	利用者の増加		

実施計画書（令和4年度～令和6年度）

事業名		役場庁舎等維持管理事業					事業区分	継続事業	
令和3年度 事業費	52,685	千円	令和4年度 事業費	47,294	千円	対前年増減額	▲ 5,391 千円	実施計画総事業費 (令和4～6年度)	141,882 千円

事業概要 令和3年1月に開庁した役場新庁舎における常駐警備や監視警備、清掃業務、エレベーター保守、環境衛生管理などの施設の維持管理や、庁舎敷地及び公共駐車場の除草作業を行う。	第四次総合計画位置付け						担当課			
	施策の大綱	7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村)					総務課			
	基本施策	⑤ 公共施設の整備・活用					担当係	情報管財係		
	実施施策	① 公共施設の整備等の推進					担当名	比嘉		
	その他関係施策						内線番号	216		
事業期間		令和	4	年	～	令和	6	年	積算資料	有

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
敷地面積や延床面積の増大、昇降機導入等により、ビル管理法や建築基準法等に基づいて調査や点検等を実施し、適切に維持管理し続けていく必要がある。 また、庁舎敷地及び公共駐車場に広大な緑地帯があり、雑草等の繁茂が著しく除草作業が必要である。	保守管理を実施することにより、今後50年にわたり使用していけるように、庁舎の長寿命化を図ることができる。 また清掃や除草作業を行うことで、景観に配慮した公共施設を維持することができる。

令和4年度			令和5年度			令和6年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
需用費	15,538	消耗品、修繕、光熱水	需用費	15,538	消耗品、修繕、光熱水	需用費	15,538	消耗品、修繕、光熱水
役務費	7,178	通信運搬、保険	役務費	7,178	通信運搬、保険	役務費	7,178	通信運搬、保険
委託料	16,678	警備、清掃、保守	委託料	16,678	警備、清掃、保守	委託料	16,678	警備、清掃、保守
使用料	7,220	借地料、リース	使用料	7,220	借地料、リース	使用料	7,220	借地料、リース
備品購入費	500	什器類	備品購入費	500	什器類	備品購入費	500	什器類
公課費	180	自動車重量税	公課費	180	自動車重量税	公課費	180	自動車重量税
合計	47,294		合計	47,294		合計	47,294	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	千円	%		国庫補助金名	千円	%		国庫補助金名	千円	%	
県補助金名				県補助金名				県補助金名			
地方債				地方債				地方債			
その他()				その他()				その他()			
一般財源	47,294	100	%	一般財源	47,294	100	%	一般財源	47,294	100	%

令和4年度目標 (KPI等)	施設の適切な管理を行う。 ・役場庁舎(敷地面積: 7,432.78㎡、延床面積: 5,597.86㎡) ・公共駐車場(6,963.23㎡)	令和4年度との相違点	効率的な管理方法を検討する。
今後の展開	定期的な除草作業の実施。	目標	施設の衛生的な管理及び長寿命化を図る。
		令和5年度との相違点	効率的な管理方法を検討する。
		目標	施設の衛生的な管理及び長寿命化を図る。

実施計画書（令和4年度～令和6年度）

事業名					吉の浦公園施設機能強化整備計画業務					事業区分					
令和3年度 事業費		104,535 千円		令和4年度 事業費		71,760 千円		対前年増減額		▲ 32,775 千円		実施計画総事業費 (令和4～6年度)		192,280 千円	

事業概要				第四次総合計画位置付け						担当課			
現在プロサッカーチームのキャンプ地として利用されている吉の浦公園施設にて、継続的なキャンプ受入の環境を整えるため専用芝の適正管理を行うとともに、更なるキャンプ誘致や地域活性化に向けた各種スポーツ合宿・大会等の開催によるスポーツコンベンションを促進するための拠点として吉の浦公園の整備計画に基づき計画的に施設の機能強化を図っていく。				施策の大綱		7節 都市基盤(利便性に優れ、快適な暮らしを創出できる村)						生涯学習課	
				基本施策		⑥ 公園・緑地の整備							
				実施施策		② 公園の充実						担当名	仲松
				その他関係施策								内線番号	322
事業期間		令和		年		～		令和		年		積算資料	

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
現在、サッカー専用芝の適正管理により県内屈指の質の高い芝環境を維持しプロサッカーチームのキャンプ地として定着しつつある。今後も継続してキャンプ受入のため適正な芝管理は必要である。また、吉の浦公園各施設は、本村のスポーツコンベンションの中心的施設として活用されているが、各施設とも老朽化等が進み危険箇所や機能不全、また備品の不備等の問題を抱えている。本村の生涯スポーツ拠点として更なる活用のため、施設全体を計画的に整備することで機能強化を推進する必要がある。					計画的に施設整備を行い、効率的に各施設の機能強化を推進することで、キャンプ地としての魅力が増すだけでなく、各種スポーツの大会等の開催や村内各団体のスポーツ活動の活性化といった生涯スポーツの拡充が図られる。				

令和4年度			令和5年度			令和6年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託費①	9,130	芝管理委託料	委託費①	9,130	芝管理委託料	委託費①	9,130	芝管理委託費
委託費②	5,000	バスケット設計委託	委託費②	10,000	管理棟基本設計	委託費②	20,000	管理棟実施設計
委託費③	5,000	芝生張替設計・監理費	委託費③	5,000	東屋改修委託費	工事費①	20,000	管理棟解体工事費
委託費⑤	2,000	放送設備設計委託	工事費①	40,000	東屋改修工事	人件費①	3,630	技術嘱託員
人件費①	3,630	技術嘱託員	人件費①	3,630	技術嘱託員			
工事費①	20,000	バスケット新設工事						
工事費②	20,000	芝張替工事						
工事費③	7,000	放送設備工事						
合計	71,760		合計	67,760		合計	52,760	

財源内訳					財源内訳					財源内訳				
国庫補助金名	金額	千円	%		国庫補助金名	金額	千円	%		国庫補助金名	金額	千円	%	
一括交付金	37,408	千円	52%				千円	%				千円	%	
県補助金名		千円	%		県補助金名		千円	%		県補助金名		千円	%	
地方債		千円	%		地方債		千円	%		地方債		千円	%	
その他()	スポーツくじ助成金	18,750	千円	26%	その他()		千円	%		その他()		千円	%	
一般財源		15,602	千円	22%	一般財源		67,760	千円	100%	一般財源		52,760	千円	100%

令和4年度目標(KPI等)	大人広場の芝生の改修やバスケットコートを新たに整備することにより村民の健康増進を図る事を目標とする。	令和4年度との相違点	陸上競技場管理棟整備工事（基本設計）	令和5年度との相違点	陸上競技場管理棟整備工事（実施設計）
今後の展開	管理棟整備工事	目標	整備基本計画に基づく施設整備を推進し、子どもから高齢者まで幅広い村民の活動を支援する施設としての機能等の充実を図る	目標	整備基本計画に基づく施設整備を推進し、子どもから高齢者まで幅広い村民の活動を支援する施設としての機能等の充実を図る